

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日  
平成 30 年 4 月 13 日

Table with columns for 事務事業名, 建設工事等入札参加審査事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 0605 健全な財政運営の推進, 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業, 事業期間, 単年度繰返し (平成17年度~), 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the bid review process and committee operations.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes data for indicators like '選考委員会開催回数' and '入札対象件数' across years 28-32.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input volume and costs. Columns include 28年度(実績), 29年度(実績), 30年度(計画), and 期間限定総投入量. Rows list various cost items like 国庫支出金, 事業費計(A), and 人件費.

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of Business Expenses). Columns show 29年度事業費実績 (千円) and 30年度事業費予算 (千円). Rows include 13 委託料 (1,298) and 19 負担金補助及び交付金 (531).

(4) 当該年度の実施内容

Table for 当該年度の実施内容 (Implementation Content of the Current Year). Columns show 30年度, 31年度, and 32年度の事業内容. Includes a list of main activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	建設工事等入札参加審査事業	事務事業No.	60503000064	所属課	財政課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 法律に基づく事務事業 自治体が業務を開始した時期と同時期に開始された。「公共工事の入札及び契約の適正化に関する法律」が平成13年4月1日から施行され、透明性・公平性の確保がより一層要求されてきた。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 茨城県の入札参加資格共同受付への参加。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持 現在のところ解決すべき課題はなく、今後も業務を滞りなく行っていく。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている 地方自治法、桜川市財務規則及びその他契約に関する条例・規則等に定められている適正な契約締結を行うことは、効果的な自治体運営に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である 健全な財政運営をするためには、透明で公平な入札執行をする必要があるため。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がない 透明性・公平性を確保するためのものであるため。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 透明性・公平性が損なわれるため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 余地がない 他に統廃合できる類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない 県共同受付に最低限必要な経費のみ計上している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である 受益者負担金はない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成30年度から茨城県の入札参加資格共同受付への参加するために、建設工事及び建設コンサルタントについては1年間分の受付とした。 平成31年度受付分から県共同受付とするための予算措置をした。平成30年度以降、隔年ではあるが、入札参加審査に係る業務量の削減に期待ができる。																							
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 ( <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる)	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) 成果マトリックス: <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑨ コスト削減優先度評価結果 ⑥																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄
--	---